科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AE225／教育調査実習　3b (Survey and Field Study in Education 3b)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	リサーチの技法と教育問題		
担当者名 (Instructor)	秋葉　昌樹(AKIBA YOSHIKI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	EDU3710	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

受講生が、会話分析などの質的研究の基本を身につけ、実際に着手することができるようになること。じっくり楽しみながら研究ができるようになることを目標としたい。

Students will learn the basics of qualitative research　such as conversation analysis and be able to try it for themselves. The class goal is for students to enjoy themselves while becoming capable of carrying out research.

授業の内容(Course Contents)

(1)具体的手順をスモールステップ方式でシェアする
(2)グループワークにより、実際に具体的な課題を決めてもらい小規模な調査を実施してもらう
(3)調査という営みの社会的/倫理的側面について「想定読者」との関係や「調査対象」との関係を視野にいれた取り組みにするべく随時リフレクションの機会を取り入れる

(1) The specific procedures will be shared with students gradually in small steps.
(2) Students will choose specific topics and carry out actual research on a small scale through group work.
(3) The class will constantly provide students with as many opportunities as possible to reflect on their relationships to the assumed readers and research subjects regarding the social and ethical aspects of the research.

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション:教育問題の四類型～グループ分けアクティビティ
2. 問題関心を深化させる具体的手順の練習
3. 会話分析の基本的考え方
4. トランスクリプトを作成してみる
5. 調査課題を設定する:データから離れない課題設定
6. 具体的分析について(その 1)
7. 具体的分析について(その 2)
8. 具体的分析について(その 3)
9. データと対話できているか(その 1)
10. データと対話できているか(その 2)
11. データと対話できているか(その 3)
12. 成果発表に向けて(その 1)
13. 成果発表に向けて(その 2)
14. 成果発表に向けて(その 3)

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

グループワークが基本となるため、課題に即して細かな連絡調整および内容に関わる議論を進めてもらいたい。ワークの進捗状況を報告するワークシートは一人ひとりが記入するが、グループ単位に毎回回収、次週冒頭に返却する。

成績評価方法・基準(Evaluation)

授業ごとのリアクションペーパー(60%)/成果発表(40%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

1. ティム・ラプリー、2018、『会話分析・ディスコース分析・ドキュメント分析 (SAGE 質的研究キット)』、新曜社
その他必要に応じて紹介する

その他（HP 等）（Others(e.g.HP)）

実習授業におけるあらゆるコミュニケーションは、ポジティブ・フィードバックが基本です。そのおつもりでいてください。

注意事項（Notice）